

北海道余市町とジョージア・グルジャーニ市が 友好交流及び協力に関する了解覚書(MOU)を締結 — 世界最古のワイン文化産地とさらなる友好関係を築く —

2026年3月28日(ジョージア現地時間)北海道余市町(町長:齊藤啓輔)は、ジョージアのグルジャーニ市において、同自治体との間で「友好交流及び協力関係の発展に関する了解覚書(MOU)」を締結しました。

本覚書は、日本とジョージア両国間の外交関係に基づき、相互理解と友好関係の深化を図るとともに、伝統的な陶製甕(かめ)「クヴェヴリ」を用いた醸造手法の共有を軸に、経済、教育、文化など幅広い分野で戦略的パートナーシップを構築することを目的とするものです。

締結式には、余市町の齊藤啓輔町長をはじめ両自治体関係者のほか、駐ジョージア特命全権大使の石塚英樹氏ら関係者が同席し、同大使館の協力のもと執り行われました。



齊藤町長とグルジャーニ市長マチャヴァリアニ氏



石塚大使(右から2番目)とともにワイナリーを視察

余市町長 齊藤啓輔 コメント

「このたび、ジョージア・グルジャーニ自治体との間で覚書を締結できたことを、大変意義深く感じています。グルジャーニ市は、世界的にも歴史あるワイン産地を有する地域であり、本町と同様に果樹・ワインを基軸とした地域づくりを進めている点において、多くの共通点を有しています。本覚書の締結を契機として、8000年の歴史を持つ醸造哲学と、余市のテロワールが融合することで、観光、農業、文化など幅広い分野において新たな価値を創造できる関係を築いてまいります。

プレスリリースについてのお問合せ

余市町役場 政策推進課 担当:白鳥

Tel:0135-21-2117

Mail:s.cyousei@town.yoichi.hokkaido.jp